

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
【発行日】令和 5 年 3 月 22 日(2023.3.22)

【公開番号】特開 2022-159528(P2022-159528A)  
【公開日】令和 4 年 10 月 17 日(2022.10.17)  
【年通号数】公開公報(特許)2022-190  
【出願番号】特願 2022-131268(P2022-131268)  
【国際特許分類】

A 63 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 63 F 7/02 334

A 63 F 7/02 304 D

【手続補正書】

【提出日】令和 5 年 3 月 13 日(2023.3.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技の進行を制御する主制御手段と、

遊技機に対する異常状態を報知する報知音と、遊技の進行に応じた演出音とを出力する音出力手段と、

画像表示手段と、

前記音出力手段から出力される音および前記画像表示手段で表示される画像とを、前記主制御手段から受信したコマンドにもとづいて制御する演出制御手段と、

前記音出力手段から出力する音量を調整可能な第 1 音量調整手段と、

30

前記音出力手段から出力する音量を調整可能な、前記第 1 音量調整手段とは異なる第 2 音量調整手段と、

を備える遊技機において、

前記第 1 音量調整手段と前記第 2 音量調整手段のうち、前記第 1 音量調整手段は、遊技者が操作することができない調整手段とされ、

前記演出制御手段は、複数の音設定部を有し、

前記複数の音設定部には、前記第 1 音量調整手段の操作に応じて音量変更が可能な演出音データと、前記第 1 音量調整手段の操作に応じて音量変更が不可能な報知音データとが個別に設定され、

前記複数の音設定部のうち前記演出音データが設定される音設定部に、前記第 1 音量調整手段の操作に応じた所定の第 1 音量値が設定され、

40

前記複数の音設定部に設定された音データを合成する合成手段と、

前記合成手段により合成された後の第 2 音量値を設定する合成音量値設定手段と、

を備え、

前記複数の音設定部は 1 つの制御素子内でのデータ設定領域として構成されるものであり、

前記第 2 音量調整手段の操作に応じて前記音設定部における前記第 1 音量値が更新可能とされ、

前記合成音量値設定手段で設定された音量に基づいて前記音出力手段から出力されることを特徴とする遊技機。

50

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００７

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００７】

（解決手段１）

遊技の進行を制御する主制御手段と、

遊技機に対する異常状態を報知する報知音と、遊技の進行に応じた演出音とを出力する音出力手段と、

10

画像表示手段と、

前記音出力手段から出力される音および前記画像表示手段で表示される画像とを、前記主制御手段から受信したコマンドにもとづいて制御する演出制御手段と、

前記音出力手段から出力する音量を調整可能な第１音量調整手段と、

前記音出力手段から出力する音量を調整可能な、前記第１音量調整手段とは異なる第２音量調整手段と、

を備える遊技機において、

前記第１音量調整手段と前記第２音量調整手段のうち、前記第１音量調整手段は、遊技者が操作することができない調整手段とされ、

前記演出制御手段は、複数の音設定部を有し、

20

前記複数の音設定部には、前記第１音量調整手段の操作に応じて音量変更が可能な演出音データと、前記第１音量調整手段の操作に応じて音量変更が不可能な報知音データとが個別に設定され、

前記複数の音設定部のうち前記演出音データが設定される音設定部に、前記第１音量調整手段の操作に応じた所定の第１音量値が設定され、

前記複数の音設定部に設定された音データを合成する合成手段と、

前記合成手段により合成された後の第２音量値を設定する合成音量値設定手段と、

を備え、

前記複数の音設定部は１つの制御素子内でのデータ設定領域として構成されるものであり、

30

前記第２音量調整手段の操作に応じて前記音設定部における前記第１音量値が更新可能とされ、

前記合成音量値設定手段で設定された音量に基づいて前記音出力手段から出力されることを特徴とする遊技機。

40

50